

(1) 点数の内訳

評価方針	配点	得点
平等利用が確保されるよう適切な管理を行うための方策	4点	3.25点
施設の効用を最大限発揮するための方策	30点	17.25点
適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	6点	4.50点
その他管理に際して必要な事項	10点	5.00点
管理に係る経費の縮減に関する方策	50点	50.00点
計	100点	80.00点

(2) 委員別の点数

評価方針	配点	委員A	委員B	委員C	委員D	委員E	得点
平等利用が確保されるよう適切な管理を行うための方策	4点	3	3	4	3	—	3.25点
施設の効用を最大限発揮するための方策	30点	16	15	20	18	—	17.25点
適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	6点	5	5	4	4	—	4.50点
その他管理に際して必要な事項	10点	5	5	5	5	—	5.00点
管理に係る経費の縮減に関する方策 (提案金額)	50点	50	50	50	50	—	50.00点 (年間22,980千円)
計	100点	79	78	83	80	—	80.00点

注：委員の並びは、ホームページ2（4）に記載した選定委員会委員の並びではありません。

得点は、評価方針ごとに、出席委員4名の点数の平均を算出し、それらを合計しています。

(3) 選定委員会意見

- ・事業の認知度向上のため、SNS等の若い世代にもあった広報ツールの活用等周知・広報の取組みを工夫されたい。なお、この点については前回選定時の講評と同様の指摘であるため、早急に改善いただきたい。
- ・引き続きアンケート等により利用者の意見を聞きつつ満足度を高めていくとともに、アンケートの実施時期や方法等を工夫することで、利用者が真に求めていることを把握し、事業に活かしていただきたい。
- ・地域社会から孤立しているなど、自ら支援機関等にアクセスすることが困難な世帯にも積極的にアプローチできる取組みを検討されたい。
- ・限られた人員と予算の中で、長年にわたり培ってきたノウハウ・経験を活かしたサービスを提供している点は評価できる。こうしたノウハウを将来に受け継ぐことができるように、後継者育成の策を講じていただきたい。